

「防犯防災総合展」セミナー

「分散備蓄」の必要性和社会的使命

専門家から見た企業の防災対策の現状と課題



カスタネット・代表取締役

植木 力氏

に社内ベンチャー制度第1号として株式会社カスタネットを創業。オフィス用品販売、防災用品に特化した事業「そなえる.com」を全国で展開している。

セミナーでは、これまでの経験に基づき、企業には防災備蓄を分散させることにより、防災意識を従業員、そして社会へと広めていく社会的使命があると、企業の防災対策の現状や今後の課題などについて詳しく解説した。

リスク・危機管理の展示会「防犯防災総合展2025」が4月16日～18日の3日間、インテックス大阪で開催された。最終日の18日、会場内のセミナー会場で「企業における『分散備蓄』の必要性和社会的使命について」と題する講演が行われた。講師を務めたのは、株式会社カスタネット代表取締役・社会貢献室長で防災ソムリエの植木力氏。

企業再建の明暗を決定づける防災意識

植木氏は京都府の高校を卒業後、航空自衛隊に入隊。航空機や装

植木氏が東日本大震災や熊本地震などの被災地に何度も足を運んだ中で気づいたことの一つが、従業員の生死や被災後の企業再建の明暗を決定づけるものは企業の防災意識に他

現在、想定されている災害の中で、最も大きな被害が想定されているのが南海トラフ地震だ。南海トラフ地震は、過去100年から150年間隔で繰り返して発生してきた大規模地震だが、今年1月、

政府の地震調査委員会は、今後30年以内に南海トラフが発生する確率を「70%～80%」から「80%程度」に引き上げた。

植木氏は分散備蓄に

「分散備蓄」とは何か

では、「分散備蓄」とは具体的にどのような備蓄が必要となるのか。

植木氏は分散備蓄に

株式会社カスタネット
京都市南区東九条
西河辺町 33
TEL 075-681-9100

また、防災備蓄の費用について、期末決算時の余剰金を充てる事例もあるが、万が一の災害発生を考えれば、防災備蓄の費用は最優先されて当然だ。

さらに、防災備蓄について社外PRを優先

企業にとって防災備蓄は「待ったなし」

植木氏は企業にお

また、備蓄を社内

植木氏は、こうした

植木氏は「企業には

は、経営者が参加して

保存期限を迎えた保

植木氏は、防災倉庫

また、備蓄を社内

植木氏は、こうした

植木氏は「企業には

か、30年後に発生する

植木氏は企業にお

また、備蓄を社内

植木氏は、こうした

植木氏は「企業には

80%であれば、誰もが

植木氏は企業にお

また、備蓄を社内

植木氏は、こうした

植木氏は「企業には